

災害時外国人支援情報コーディネーター養成研修について

1. 背景・経緯

- 平成28年に総務省において「情報難民ゼロプロジェクト」を開催し、同アクションプラン(平成28年12月)で、2020年の目指す姿の一つとして、避難所等にいる外国人被災者への情報伝達を支援するコーディネーターの配置が提示。
- 「災害時外国人支援情報コーディネーター制度に関する検討会」(平成29年度)において議論。
- 上記検討会での議論を踏まえ、令和2年を目途に、まずは都道府県及び指定都市での配置が可能となるよう、「災害時外国人支援情報コーディネーターを養成するための研修」を平成30年度から実施。

2. 令和元年度における養成研修

日程: 令和2年2月5日(水)～6日(木) 場所: 総務省自治大学校 ※既に募集は終了
対象: 地方自治体、地域国際化協会等の職員で、以下のいずれかの要件を満たす者

- ・災害対応経験を有し、今後、災害時に行政等から提供される災害や生活支援等に関する情報を整理し、避難所等にいる外国人被災者のニーズとのマッチングを行う業務を担う可能性がある者
- ・全国市町村国際文化研究所(JIAM)及び一般財団法人自治体国際化協会(CLAIR)共催「災害時における外国人への支援セミナー」修了者

受講経費: 無料(ただし、旅費、宿泊費、食費は自己負担)

【参考】平成30年度「災害時外国人支援情報コーディネーターを養成するための研修」

日程: 平成31年2月21日(木)～22日(金) 場所: 総務省自治大学校 参加者: 57名

<参考>コーディネーターの主な役割(イメージ)

